

式中だより



358号

平成29年(2017年)
11月20日(月)
発行 新島村立式根島中学校
04992(7)0017
<http://www.niijima.com/shikichu/>

『学芸会～感謝の心と成長』

校長

11日(土)に行われた「式根島保小中合同学芸会」には、多くの方々のご参観ありがとうございました。前半は体育館に当たる雨の音で聞きづらいところもありましたが、年少・年中、低学年・中学年の子供たちは、雨の音に負けない大きな声と元気なアクションを見せてくれました。後半では雨も止み、保小中全員での「式根島賛歌」斉唱、そして年長組、高学年、中学生とそれぞれが素晴らしい舞台を見せてくれました。演技終了時の温かい拍手に、子供たちも式根島の皆が皆で自分たちを見守り応援してくれると感じ、「島の人たちに支えられている」という気持ちを持ち、それが「感謝の心」へとつながって欲しいと思います。

また、演劇は自分ではない誰かを演じるものです。自分が行う役割になりきり、『今、この人は何を思ってこの台詞を言ったのだろうか?』と考えることで、その内面まで深く踏み込むことができ、役を一つこなす度、自分ではない誰かの心を推し量れるようになっていきます。毎年行っている学芸会ですが、一年ごとに心を推し量れる役の数が増え、普段の生活の中でも他の人を慮れるようになっていくと思います。これこそが「成長」です。子供たちがこの学芸会を通して自分自身の成長を感じてくれたら嬉しいです。

(おまけ) 担任最後の教え子で舞台女優になった生徒がいます。大人しくて控えめでとても演劇などやりそうもない女生徒でしたが、女優志望の話聞き「どうして女優をやりたいの?」という質問に、「いろいろな人生が経験できるから。」と答えました。最初に見に行った公演がはねた後、楽屋前で少し話をしました。「先生、やっと女優になれました。まだ食ってはいけませんけれどね…。」そんな言葉が印象に残っています。

『合同給食で団らんの時間を』

給食担当

中学校では毎月1回、全校生徒と教員で給食を食べる「合同給食」を行っています。準備・運営は、保健給食委員の生徒が行い、当日の座席は、委員が作成した4択のアンケートで、同じ回答をした生徒と教員でグループを作って決めています。例えば、「好きなラーメンは何派?」や「この中で生まれ変わるなら?」などの質問に対する回答です。それぞれのグループでは、アンケートの回答に関する話題や、学校生活に関すること、趣味などについての会話を楽しんでいます。献立の栄養素の確認等で給食の理解を深めるだけでなく、仲間との団らんの時間を通じて、豊かな人間関係を築く貴重な時間となっています。



『学芸会を終えて』

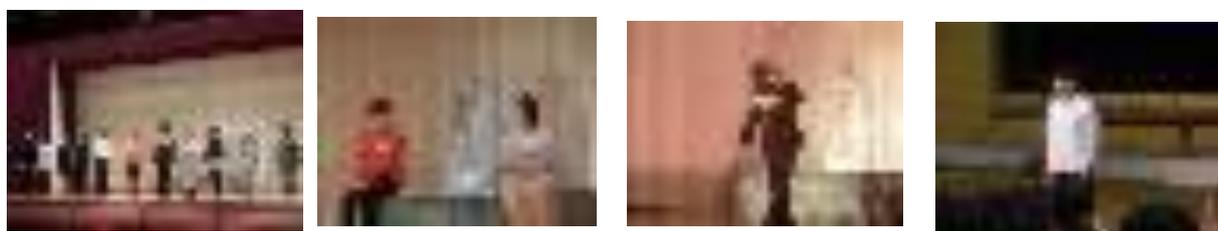
学芸会劇指導担当

夏休み前、何を演じるかを決めるとき、式根島の昔話といくつかの現代劇の選択肢の中から生徒たちが選んだのが、今回の劇「プロローグ」でした。

夢の配達人が作り出す不思議な夢の中で、死に別れた母と娘が出会い、それぞれの登場人物が、信じることの大切さを学んだり、前向きに生きる勇気をもたらしたりする物語です。感動的な話の中に笑いも織り込みながら、登場人物の個性を出し、見ている人たちに満足してもらえる劇を目指しました。

台詞の言い回しや動きは、その役を演じる生徒が自分で考え、練習を通して場面担当の教員や同じ場面を演じる仲間たちと話し合いながらよりよくしていきました。場面練習と通し練習を繰り返す中で、改善を加えていき、演技の完成度はどんどん高まっていきました。中学生は年を追うごとに演技力が高まっています。普段の自分と演じる役に大きなギャップがあるにもかかわらず、自然に演じることができる生徒もいました。

生徒のアンケートによると、自分の演技、劇全体の出来栄えとも満足の出来だったようです。私たちの劇を見た感想はどうでしたか？ご満足のいく夢を見ていただけただけでしょうか？



『顔の見える募金活動』

募金活動担当

毎年実施されている学芸会での募金活動を今年は日本にいる「難民支援」をする目的で実施しました。生徒は事前に、難民が紛争や災害などによって自分の地域を強制的に迫害されたこと、難民キャンプでは、十分な食料が得られなかったり、学校に通えない子供がいること等について学習してきました。また、サッカー日本代表監督のハリルホジッチや科学者のアインシュタインなど難民著名人の存在を知り、難民の可能性についても議論を深めてきました。今回の募金は、「難民支援協会」を通して日本にいる2万人の方々に寄付される予定です。今回の募金活動を通して、「自分たちでも社会の問題を解決することができる」という実感がもてたと思います。ご支援ご協力賜りました皆様に、心より御礼申し上げます。



難民支援協会の方々に募金を渡してきました。

募金総額 77,002円

『交流活動』

生徒会担当



10月26日（木）にゲートボール連盟の皆様、小学56年生を招いてゲートボール交流会を実施しました。生徒会長による開会の言葉に始まり、副会長が司会進行を行いました。中学生は連盟の方々から助言をいただいたり、作戦を相談したりしていました。また、小学生には「頑張れ」や「こうするといいよ」などと声をかけ、チームを盛り上げていました。閉会式は副

会長による閉会の言葉で締めくくりました。本活動は招待状の作成・配布、当日の進行、お礼状作成・配布まで生徒会役員を中心に生徒全員で行っています。今後とも実りある活動になるよう取り組んでいきますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

『ブラッシング指導』

養護教諭

11月15、16日に式根島診療所歯科医を招いて、臨時の歯科検診と個別のブラッシング指導を実施しました。本校では、虫歯の罹患率が昨年度に比べ増加傾向にあります。虫歯の生徒を一人でも少なくするために、個別のブラッシング指導を通じて、一人一人の歯並びに合った磨き方を生徒自身が理解し、日頃から意識して磨くことが必要になってきます。虫歯は放っておいても治りませんので、検診等で虫歯の疑いがみられた場合は、速やかに歯科医を受診することをおすすめします。



『食育講話』

食育担当

11月14日（火）さわやか健康センター管理栄養士さんにお越しいただき、「間食」についての食育の授業を実施していただきました。スナック菓子を教材にして、袋に書かれている食品表示に書かれている様々な情報の読み方を学びました。食品表示をよく見て、商品を選択できるようになってほしいと思います。食事とのバランスをとりながら程よく間食をとるようにしてほしいです。



近年、ハーバード大学では、「日本史」の授業が学生たちに大人気だそうで、「日本で日本語を勉強したい」「世界に日本があつてよかった」という声が多くあります。エリート学生が日本史に夢中になり、熱心に議論する理由について今回は紹介したいと思います。(社会科の教員としては嬉しい限りである。ちなみに、ハーバードでの人気講座は、「切腹」についての議論や源氏物語の光源氏の性格を批評する授業などが米国の学生から人気ようだ。)

ところで、皆さんは、日本という国が現存する世界最古の国家ということを知っていましたか？約 1500 年にわたり古代より天皇の位がずっと受け継がれてきた国は、世界中どこを探しても例がありません。(イギリス王室は900年、中国の王朝は長くて300年)日本は日本という独自のものを崩さず歴史を紡いできた国で、このような日本の文化に世界中が注目しています。例えば、アップル社の創業者、スティーブジョブスは若いころから「禅宗」の影響を受け、その精神が具現化されたものが i Phone だそうです。ジョブスは、「見えないものを見て、聞こえないものを聞く力」があったからこそ、まだ市場にないけれど、人々が望んでいた新しいものを創造できたといっています。また禅の精神をもった彼は、製品の外装だけでなく、見えない内部の部品にまで美しさを求めたといっています。このように世界中の人々が日本に注目しているのです。

しかし、肝心の日本人はどうでしょう？自国のよさを外国人に自信をもって説明できる人は多くありません。もしかしたらそれは「式根島」にも言えることかもしれません。自分たちの国や地域、歴史、文化がもつ「価値」や「魅力」を発見し、外からだけでなく、内からも輝き続ける「日本」「式根島」であってほしいと思います。



星の写真講習会のお知らせ

日時 平成29年12月11日(月) 午後7時～

場所 新島村立式根島中学校 多目的室屋上 (雨天曇天の場合講習のみ)

講師 池上 達雄さん

(式根島に天体望遠鏡を持ち込んで毎月天体観測に来ている方です。)

対象 星の写真撮影に興味のある方 これから撮影してみたい方

参加希望の場合、時間に直接中学校に来てください。

問い合わせ

式根島中学校

7-0017

12月の予定

生活目標：2学期のまとめをしよう
保健目標：かぜ・インフルエンザを予防しよう
給食目標：寒さに負けない食生活を考えよう

『式中だより』は、毎月20日を目途に発行していきます。

18	月	生徒会奉仕活動
19	火	保護者会
25	月	終業式、大掃除



※カラー版の式中だよりはホームページをご覧ください